

プチ骨董収集遍歴

札幌医科大学医師会

澤田 典均

蓼食う虫も好き好き。骨董も然り。ただ収集を続けるには、お金、時間、場所そして家族の理解もいる。私が何かを集めるようになる伏線は、1982年、義父から坂本直行の絵と柴崎重行の木彫りの熊を頂いたことであろう。その時にはほとんど感動はなかった。1989年、東京から札幌に戻ったころ、柴崎の熊を眺めて胸のざわめきを感じた。

1995年、札幌医大第二病理の助教授になり、ストレス解消に絵を見、買うようになった。ビュッフェや三岸節子などのリトグラフ、国松登、田辺三重松などだが、貯めていた小遣いも底をつき、しりすぼみになった。2005年から2006年にかけて入院した時、病室にビュッフェのピエロを掛けた。しかし2～3ヵ月で気が滅入るようになり、田辺の支笏湖に変えた。柴崎の熊は、ベッドの傍らに私を見守るようであった。退院後5ヵ月間半日勤務。この時期に古備前の壺に出会う。室町時代や桃山時代の壺が今に生きている。そう思うと実物に触れなくなった。山口の収集家と知り合い、大小15～6個の古備前壺を得た。いくつかには名前を付け、時々撫でまわし健康回復のエネルギーをもらった。これらの壺は、大きく空間を占めるため、5～6年で収集を止めた。

話は前後するが、2000年、教授になり、気分転換のために抹茶を飲むようになった。自己流。点てる、数秒の集中。音の変化と沸き立つ香り。あてはファミリーマートの黒糖かりんとう。茶筌と茶碗と抹茶があれば、インスタントラーメンよりも早い。気分転換に最適に思えた。やがて手取りの良さを求め茶碗に凝る。ついには、朝の一杯はやる気が出る茶碗、食後にはくつろげる茶碗、会議の前には背筋が伸びる茶碗という次第。今春退職するまで続いた。抹茶は今も飲む。鈴木五郎と鯉江良二の茶碗は実に面白い。

日本酒が好きで、各地の学会の記念としてぐい呑みを買いはじめ、それ以外にも一個一個買い足して、気がつけば百個くらいになっていた。いずれにも思いつきがある。残念ながら病後酒量がぐっと減り、かつ冷より爛が増え、かつて愛用した大きいぐい呑みの出番は少ない。今は唐津焼や李朝のぐい呑みを好んで使う。陶器は使い込むと、景色が出てくる。ぐい呑みや茶碗の変化が面白い。育ってくると可愛い。毎度飲み終えじつくりと、うち、そと、高台を見る。一つ育てるにも、強い愛着と根気が必要だ。

私の好きなお城

札幌市医師会
札幌南三条病院

本田 泰人

お城マニアの先生たちはたくさんいらっしゃると思いますが、小学生の頃から歴史オタクの私もお城巡りが大好きです。お城の建物自体に興味があるわけではありませんので城郭検定等の資格は持っていませんが、お城の空気に触れるだけで遠い戦国の歴史を夢想し、一人悦に入っています。お城の好みは、性格、年齢などによって千差万別でしょうが、異論を覚悟で告白すると、私が一番好きなお城は備中松山城です。JR岡山駅からJR伯備線を利用して特急列車でも35分はかかる備中高梁駅が起点になり、臥牛山のほぼ山頂標高430mに聳える山城で、登山口となる8合目にあるふいご峠まではシャトルバスやタクシーを使う必要があります。登り始めると階段状の土塀と石垣が続き、高さ10m以上の巨大で切り立った岩壁も聳え、いかにも山城といった雰囲気です。自然の岩を生かした重層する高石垣が圧巻で、“難攻不落”の文字が思い浮かびます。20分くらい登るとようやく天守が見えてきますが、小ぶりながら味のある見事な二層の天守に一気に目を奪われます。現存12天守の中では最も低い天守ですが、正面の唐破風出窓が良いアクセントになっていて、バランスのよくとれた綺麗な天守です。孤高を感じさせる正面からの景観だけでも十分満足できますが、天守の裏手に回ると二重櫓の乗る見事な自然の岩を利用した高石垣があり、正面から見るとはまた違った力強い印象を受けます。

備中松山城は、現存12天守の中では最も高い場所にあり、アクセスが一番不便かもしれませんが、そのために観光客も少なくお城マニアにとっては垂涎の地と言えるでしょう。しかし、愛媛県の松山城にあるようなリフトやロープウェイが備中松山城にできることはないにしても、いつまでもこの静かな空間が保たれるという保証はありません。最近はお城を訪れると、“おもてなし武将隊”の人たちの騒々しい出迎えや、外国人観光客の奇声など、お城には似つかわしくない喧噪のイメージが強くなってきています。また、姫路城やお城ではありませんが、平等院鳳凰堂が壁の塗り替えをして、その古色蒼然たる輝きが失われ、歴史的な重みが減殺されてしまったのは記憶に新しいところです。

岡山自体訪れるチャンスはそう多くない地域とは思いますが、日本の原風景とも言えそうな備中国分寺五重塔を眺めながらの吉備路のサイクリングもお勧めです。観光地化してしまっている倉敷はスルーするにしても、岡山観光の途次にはぜひ備中松山城を訪ねてみてください。